

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARCウィル城陽		
○保護者評価実施期間	2024年11月5日		～ 2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年1月27日		～ 2025年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師、療法士、保育士、児童指導員などの専門職が在籍しており多職種連携を図ることで、様々な角度からお子様やご家族様のサポートができる体制が整っています。	週に2回の全体会議や各職種での会議など、お子様の状況に合わせた活動のプログラムを共有し立案しています。またPARCでは集団療育をメインとしていますが、個別に活動する時間も大切にしていけたらと考えており、お子様に合わせて個別に活動する内容の充実化を図っています。	全体会議や専門職帯での会議を継続し、お子様の個性にあった活動を提供出来るよう取り組んでいきます。
2	学校の先生と情報交換を行い、支援内容やお子様の様子などをお伝えしています。必要に応じて保育所等訪問支援を実施し、お子様の状況確認・情報共有を行っています。	各関係機関と連携を図り支援者会議を行うなど、情報共有をする場を設けることで、支援する側が同じ方向性でお子様やご家族様をサポートできるようにしています。	保育所等訪問での様子をご家族様にフィードバックすることでお子様の様子を丁寧にお伝えし、ご家族様の意向も踏まえ今後の進め片を一緒に考えいきます。
3	訪問看護を導入しお子様の様子や保護者様のニーズ、今後の課題などをお話する機会を設け、相談や申し入れがあった際は、職員へ共有し対応できる体制を整えています。	連絡ノートや送迎時にご家族とお子様の情報共有を行っています。また訪問看護では、お子様の様子や保護者様のニーズ、今後の課題などをお話する機会を設けています。	保護者様のニーズや今後の課題において療育の中で取り入れていけることは、多職種と連携を図り、積極的に取り入れていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型の夏祭りや卒業式を開催し、短い時間ではありますが、保護者同士での情報交換の場を設けています。今後保護者同士が交流できる場所を提供していけたらと考えています。	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する機会を設けることが出来ていません。開催の時期や方法など検討が必要です。	保護者同士での情報交換できる場を増やしていきたいと考えています。
2	地域との交流など、地域に開かれた事業運営を図っていききたいと考えています。	地域との交流においては現状では、難しく実施できていません。まずは他のPARCウィルとの交流の場を設けていきたいと考えています。	長期休みなどを利用し、PARCウィル伏見やPARCウィル交野にお散歩に出かけるなどの計画をた立て実施していきます。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが、PARCウィル城陽、PARCじょうよう、訪問看護での全体での訓練ができていません。	お子様の特性に合わせての避難訓練は実施していますが、避難した場所の環境設定、避難場所での待機を踏まえた避難訓練が実施出来ていないため、実施していけたらと考えています。	避難経路の確認、全事業所での避難時の連携の回り方などを話し合う場を設け、シミュレーションを行っています。